



女性のためのヘルスケア

■女性ホルモンの「波」は健診結果にも影響します

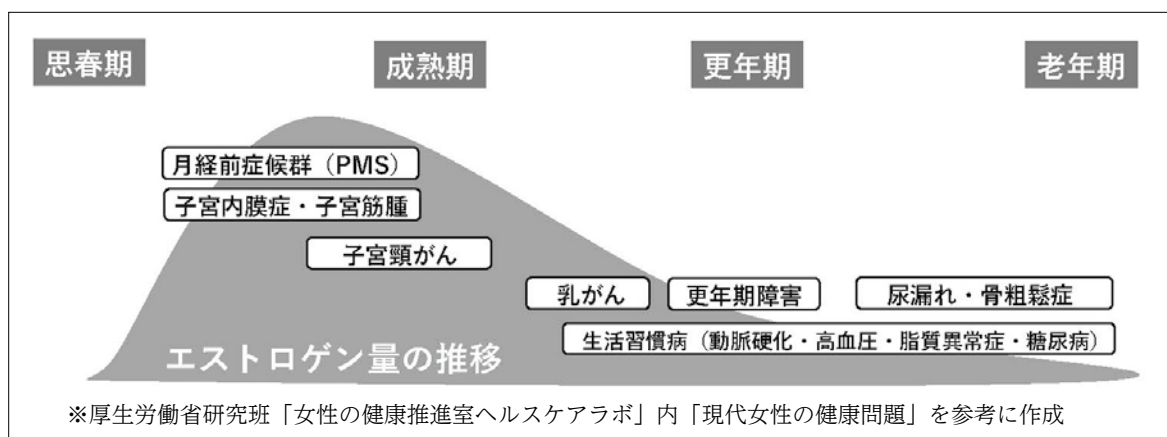
女性は、女性ホルモンの影響を受けるため、ライフステージ毎に健康課題が異なります。
また、生活習慣病も女性ホルモンと深く関係する健康課題の1つとなっています。

女性ホルモンの種類

- ・ **エストロゲン** 子宮内膜を厚くするなど、妊娠に向けた体づくりを行う。
- ・ **プロゲステロン** 子宮内膜を維持するなど、受精卵が着床しやすい状態を保つ。

エストロゲンは、妊娠や出産に関わる働きだけでなく、私たちの体を守る役割を担っており、エストロゲンが減少する更年期を境に、健診結果にも変化が現れやすくなります。

【エストロゲン量の変化と関連する症状、疾患】



■年齢に関わらず、がんになる可能性があります

以下の表を見ると、乳がんや子宮がんは、胃がんや肺がんと比べて比較的若い世代から増加がみられます。そのため、早期発見、早期治療のためには定期的ながん検診が大切です。

「子宮がん検診」は20歳から実施していますので、自覚症状がなくても検診を受けましょう。

・乳がん

30代以降で急増し、40代以降も罹患率が高い。

・子宮がん

20代から増加傾向。

町内で受けられる
「乳がん、子宮がん検診」

9月14日(月)～15日(火)

※詳細は広報あびら 8月号
17ページをご覧ください。

【女性の年齢別 がん罹患率】

